

世界遺産を守り、活かす

せかいいさん

まも

い

紀伊山地は年間を通して雨量が多く、参詣道の土がやむことなく流出する状況にあります。総面積約500ha・全長約350kmにおよぶ広大な資産「紀伊山地の霊場と参詣道」を良好な状態で次代に残していくには、多くの方々の協力が必要です。

10万人の参詣道環境保全活動

参詣道は「道」であるため、専門家による指導のもと、誰もが世界遺産の修復活動に携わることができます。県では、傷んだ参詣道に土を入れる「道普請」をボランティア活動プログラムとして多くの方々に提供しています。さらに、トレーニングと組み合わせることで、参加者が参詣道歩きを楽しみ、継続的な保全活動への参加につながっています。



インタビュー 日本道路株式会社 赤堀 真意子さん



機械ではなく人力による修復作業は、道具も重く体力的にも大変でしたが、同じ道を作る人間として、とても良い体験になりました。また、世界遺産をとっても身近に感じることができ、熊野古道の魅力を知ることができました。今後も継続的にこの道普請に参加していきたいと思

次世代育成事業

県では、世界遺産を確実に保存し次世代へ継承するため、小・中・高校生を対象に、講義や体験授業を組み合わせた世界遺産学習を通じて、次世代育成を行っています。体験授業では、世界遺産マスターによる参詣道の案内のほか、道普請による保全活動も実施しています。



世界遺産マスター

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は自然と人々の営みが長い時間かけて形成した文化的景観が主役であり、世界でも類を見ない資産として価値の高いものです。民間の活力を生かし、「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と適正な活用を推進するため、世界遺産マスター制度を設けており、平成31年2月1日現在115名の方が世界遺産マスターとして活動しています。

「水の国、わかやま。」

和歌山県には水に関連した観光資源が多く存在します。「水の国、わかやま。」では、まだ知られていない水にまつわる観光資源を、認知度の高い世界遺産などと組み合わせることで発信していきます。



水を見る 滝の拝(古座川町)

サイクルリストに優しい宿の拡大

自転車部屋まで持ち込めたり、空気入れや修理工具の貸し出しを行ったり、サイクルリストに優しい宿泊施設の拡大を進めています。

サイクルステーションの設置

サイクルリストが休憩や自転車のメンテナンスを行うことのできる施設「サイクルステーション」の設置を進めています。

サイクリングロードの整備

地域に不慣れたサイクリングでも、より安全にサイクリングが楽しめるよう、県内全域800kmを超えるサイクリングロードの整備を進めています。



和歌山サイクリングMAP

- 1 紀北ルート
 - 1-1 ハイランドパーク粉河ヒルクライムルート
 - 1-2 錦谷峠ヒルクライムルート
 - 1-3 ニタマに会いに行く貴志川ルート
- 2 紀中ルート
 - 2-1 椿山ダム散策ルート
 - 2-2 真妻の田園散策ルート
- 3 紀南ルート
 - 3-1 日本唯一飛び地の村ルート
 - 3-2 大妻取山ヒルクライムルート
 - 3-3 古座街道・滝之拝歴史ルート
- 4 海岸ルート



水が創る 百間山溪谷(田辺市)



水と遊ぶ 古座川カヌー(古座川町)

南紀熊野ジオパークセンター

潮岬観光タワー西側に今年7月オープン予定!

本州最南端の潮岬にジオパークの情報発信や調査研究の拠点となる施設が誕生します。センターでは、南紀熊野のダイナミックな大地の魅力を映像や模型で体感することができます。



けんちょうかんきょうせいしかつそうむかしぜんかんきょうしつ
県庁環境生活総務課自然環境室 ☎073-441-2690

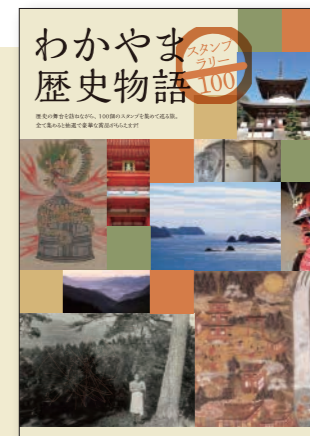
わかやま歴史物語

スタンプラリー100

神話の時代から近代に至るまで、県内各地に残る歴史ストーリーに、歴史にまつわる秘話、SNS映えスポット、食、温泉、体験などの観光要素を盛り込んだ100の旅モデルを特設WEBサイトや冊子で紹介する「わかやま歴史物語」。

この奇跡の歴史が綴られた「わかやま歴史物語」の舞台を巡り、100個のスタンプを集めるスタンプラリーを開催中です。

スタンプラリー実施中! 2020年3月20日(金)まで



近畿エリアの道の駅、和歌山県内の市町村・観光協会、スタンプ設置施設などで冊子入手し、スタンプラリーに参加してください。

わかやま歴史物語

